



2022年2月3日

各位

会社名 株式会社 日本 触 媒
代表者名 代表取締役社長 五 嶋 祐 治 朗
(コード番号 4114 東証第1部)
問合せ先 コーポレート・
コミュニケーション部長 来 栖 暁
(TEL 03-3506-7605)

2022年3月期業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2021年10月29日に公表いたしました2022年3月期の業績予想および2021年8月5日に公表いたしました配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想について

2022年3月期 通期連結業績予想値(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2021年10月29日時点)	355,000	24,000	28,500	20,500	514.10
今回発表予想(B)	365,000	27,000	31,000	21,500	539.18
増減額(B-A)	10,000	3,000	2,500	1,000	
増減率(%)	2.8	12.5	8.8	4.9	
(ご参考)前期実績値 (2021年3月期)	273,163	△15,921	△12,926	△10,899	△273.33

2. 個別業績予想について

2022年3月期 通期個別業績予想値(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2021年10月29日時点)	215,000	14,000	20,000	15,000	376.17
今回発表予想(B)	220,000	17,500	23,000	17,500	438.87
増減額(B-A)	5,000	3,500	3,000	2,500	
増減率(%)	2.3	25.0	15.0	16.7	
(ご参考)前期実績値 (2021年3月期)	181,073	4,884	11,280	△19,650	△492.78

3. 連結・個別業績予想修正の理由

当社は2021年10月29日に、上期においてアクリル酸及びアクリル酸エステルの製品海外市況の高騰が想定以上に継続したことなどによる増益に加え、下期における在庫評価差額の影響による増益や、原料価格上昇による機能性化学品のスプレッド縮小などを見込んで、通期業績予想値を修正いたしました。

その時点においては、アクリル酸及びアクリル酸エステルの製品海外市況は10月以降段階的に落ち着くものと見込んでおりましたが、第3四半期は中国の供給制限や海上輸送の混乱などにより市況の高騰が継続したため、基礎化学品のスプレッドが維持されました。第4四半期はアクリル酸及びアクリル酸エステルの製品海外市況は落ち着くものと見込んでおりますが、想定よりも原料価格が上昇していることで在庫評価差額の影響が拡大することなどにより、通期の営業利益は、前回予想値に対して30億円増益の270億円となる見込みです。また、税引前利益は310億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は215億円となる見込みです。

通期業績予想の為替レートは112円/米ドル、130円/ユーロ、国産ナフサ価格は55,700円/キロリットルとしております。

また、2022年3月期通期の個別業績予想につきましても、同様の理由から上記のとおり修正いたします。

4. 配当予想について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2021年8月5日時点)	—	80.00	—	50.00	130.00
今回予想				100.00	180.00
当期実績	—	80.00	—		
(ご参考)前期実績値 (2021年3月期)	—	45.00	—	45.00	90.00

5. 配当予想修正の理由

当社は、株主の皆様への利益配分を経営の最重要課題と位置付け、事業拡大や企業体質強化などを総合的に勘案しつつ、連結業績動向を見通し、中長期的水準向上を目指した配当を行うことを基本方針として、配当性向等を考慮し、配当を実施することとしております。また、配当に加えて、1株当たりの価値を上げるための自己株式取得も選択肢の一つとして検討してまいります。

一方、将来にわたって競争力を維持し、成長を続けるためには、設備投資、戦略投資、研究開発投資などを積極的に展開することも必要であります。そのため、利益の内部留保もまた重要であると考えており、今後も引き続き両者のバランスに十分配慮した利益配分を行ってまいります。

2022年3月期の期末配当予想につきましては、これまで当初予想では創立80周年記念配を含め1株当たり50円（普通配45円、記念配5円）とし、原料価格の高騰や自動車減産等の影響を見極め修正の要否を検討するものとしておりました。上記の配当基本方針および今回算定した業績予想を総合的に勘案し、1株当たり100円（普通配95円、記念配5円）に修正いたします。これにより年間配当予想は180円（普通配170円、記念配10円）となり、前回予想より50円増配、前期実績より90円増配となります。

(注) 上記の予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上